

2022年1月14日

メールサーバおよび DNS サーバのセキュリティ改善の取組について

情報メディア基盤センター

メールサーバおよび DNS サーバについて、spam 送信の踏み台として利用されるなどのセキュリティインシデントが増加しています。これらのサーバは、研究室の若手教員や学生などによる自主的な管理に委ねられていることが多かったのですが、セキュリティインシデントの増加などのネットワーク環境の悪化に伴い、そのような体制の継続は困難となってきています。

このような状況を改善するため、情報メディア基盤センターでは、以下の 2 つの取組を実施しますので、ご利用・ご対応をお願いします。

1. ホスティングサービスの課金制度の改定

2022 年度から、以下のようにホスティングサービスの課金制度を改定し、メールホスティングサービスおよび DNS ホスティングサービスに対する課金を減額しますので、研究室独自のメールサーバ・DNS サーバは、ホスティングサービスへの移行をご検討ください。

現制度：

- ✓ 1ドメインあたり 3 万円/年（サービスの利用内容に関わらず）

新制度：

- ✓ メール・DNS ホスティングサービス 無料
- ✓ ウェブホスティングサービス 1ドメインあたり 3 万円/年
- ✓ VM ホスティングサービス 1VM あたり 3 万円/年

2. OP25B の実施

学外ネットワークに属するサーバの SMTP ポート (25/tcp) に対する、学内ネットワークからの通信を制限します。これにより、学内ネットワークに接続された端末にマルウェアがインストールされ、spam 送信の踏み台となる事態を阻止します。この制限は、2022 年 5 月より実施します。

研究室でメールサーバを運用するなど、学外の SMTP ポートに対する通信が必要な場合は、SMTP ポートに対するサーバ設置申請書を提出して下さい。提出されているサーバからの通信は、これまでと同様に制限されません。サーバ設置申請書の提出は、上記制限の実施までをお願いします。

この取組によって、学内ネットワークから、学外のインターネットプロバイダ (ISP) のメールサーバを利用していた方は影響を受けます。なお、自宅や学外から接続してい

る場合は、VPN サービスを利用している場合を除き、影響を受けません。多くのインターネットプロバイダは、すでに OP25B 対策を実施しており、Submission ポート（587/tcp）で接続を受け付けていることが一般的です。ご自身の契約内容の確認と設定変更をお願いします。